



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月8日

上場会社名 三和油化工業株式会社 上場取引所 東・名  
コード番号 4125 URL <https://sanwayuka.co.jp/>  
代表者（役職名） 代表取締役社長執行役員（氏名） 柳 均  
問合せ先責任者（役職名） 取締役執行役員経営管理部長（氏名） 熊崎 聡 (TEL) 0566-35-3021  
半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	7,773	△3.0	337	△56.1	378	△52.0	228	△56.6
2024年3月期中間期	8,011	△11.0	769	△22.6	787	△22.4	527	△19.1

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 83百万円(△87.7%) 2024年3月期中間期 685百万円(16.3%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	52.97	—
2024年3月期中間期	122.16	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	20,018	12,148	59.7
2024年3月期	21,122	12,079	57.0

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 11,958百万円 2024年3月期 12,040百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,473	105.4	1,037	81.0	1,098	80.7	738	70.8	170.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有  
新規 1社(社名) サンワマテリアルソリューションズ株式会社、除外 1社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.9「2 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	4,318,000株	2024年3月期	4,318,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	106株	2024年3月期	83株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	4,317,901株	2024年3月期中間期	4,317,961株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現状入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結会計期間 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
中間連結会計期間 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における世界経済は、米国では経済が堅調に推移しているものの、中国経済の減速、ユーロ圏経済の停滞、ウクライナ情勢の長期化及び中東情勢の緊迫化によるエネルギー価格への影響懸念など、先行き不透明な状況が継続しております。

国内経済においては、経済活動の正常化が進む中で企業収益や個人消費の持ち直しを背景に日経平均が最高値を更新するなど堅調な動きがみられる一方で、円安や資源価格の高騰、物価の上昇などもあり、今後の動向には十分に留意する必要があります。

このような状況下において、当社グループは環境を軸とした事業活動を展開し、サステナブルな社会の実現に貢献することを通じて、社会から必要とされる環境リーディングカンパニーとなることを目指し、2030年度を見据えた長期ビジョン「グランドビジョン2030」を2023年5月に策定して取組を進めております。グランドビジョン2030に向けた直近3年間を中期経営計画期間としており、中期経営計画においては、中長期的な成長が見込まれる半導体・電池及び電子部品業界向け製品供給やサービス提供に注力することにより、事業成長・業績拡大を進めることとしております。また、使用済化学品の再資源化需要に対応するため、2024年6月に北九州市に子会社サンワマテリアルソリューションズ株式会社を設立し、2026年度の稼働開始に向けて準備を進めております。当中間連結会計期間においては、今後の成長ドライバーとなる半導体・電池及び電子部品業界向けの製品供給や産業廃棄物の有効利用等に注力いたしましたが、顧客の稼働回復遅れや在庫の消費待ち等、外部環境の影響を大きく受ける状況となりました。

その結果、当中間連結会計期間における業績は、売上高7,773百万円（前年同期比3.0%減）、営業利益337百万円（前年同期比56.1%減）、経常利益378百万円（前年同期比52.0%減）、親会社株主に帰属する中間純利益228百万円（前年同期比56.6%減）となりました。

当社グループは、環境関連事業の単一セグメントであるため、セグメント毎の記載を省略しておりますが、主な事業は5つに区分しており、事業種類別の業績は次のとおりです。

#### ①リユース

当事業は、再資源化に対する社会的ニーズが年々高まる中、サーキュラーエコノミーの形成に貢献していくことを目指し、有機溶剤、リン酸及び希少金属等のマテリアルリサイクル推進とその付加価値向上に注力しております。資源価格及び各種コスト上昇分の価格転嫁を進めており、再生製品の販売価格が上昇していることに加え、一部顧客の工場において稼働が回復しており、再生品原料の収集量が増えていることから、取扱数量が増加しました。その結果、売上高は1,882百万円（前年同期比28.0%増）となりました。

#### ②リサイクル

当事業は、これまでに東西工場拠点において投資をしてきたリサイクル施設の稼働率を向上させるため、新規顧客開拓による取扱数量の増加に注力しております。産業廃棄物の収集を強化してきたため、全体の取扱数量は増加したものの、単価の高い難処理物の取扱数量は減少し平均単価は下落いたしました。その結果、売上高は2,732百万円（前年同期比2.1%減）となりました。

#### ③化学品

当事業は、次世代自動車の台頭やIT技術・情報通信技術の高度化に伴い、半導体・電池及び電子部品等のマーケット拡大が期待される中、そのようなエレクトロニクス業界向けの製品供給に注力しております。しかしながら、半導体業界の一部顧客において需要が回復したものの、電池関連顧客の生産調整等により、販売数量が減少いたしました。その結果、売上高は1,565百万円（前年同期比26.4%減）となりました。

## ④自動車

当事業は、次世代自動車などの新しい可能性が広がる一方、従来からの部品加工分野は需要が縮小していくことが見込まれます。原材料価格の上昇を売価へ転嫁する活動は進めてきたものの、金属加工油や潤滑油等の販売数量は伸び悩みました。その結果、売上高は1,173百万円（前年同期比9.1%減）となりました。なお、これまで自動車事業に含めておりました解体・清掃等の作業代を当中間連結会計期間よりPCB事業へ統合し名称をエンジニアリング事業に変更いたしました。前中間連結会計期間の自動車事業から作業代を除いた売上高は1,185百万円となります。

## ⑤エンジニアリング

当事業は、当中間連結会計期間より名称をPCB事業からエンジニアリング事業に変更し、これまで自動車事業に含めておりました解体・清掃等の作業代を統合いたしました。PCB廃棄物を適切に処理する取組で培ったノウハウを活かし、今後増加が見込まれる化学プラント等の改廃ニーズを取込み、解体工事により発生する清掃・廃棄物処理等を一手に担い、ソリューション提供を通じて顧客の信頼を獲得し、事業を拡大していく活動に注力しております。PCB廃棄物の処理は2027年の処理期限に向けて縮小しつつあるものの、解体・清掃等の作業においては顧客ニーズに的確な対応ができたことから、概ね堅調に推移しました。その結果、売上高は419百万円となりました。なお、前中間連結会計期間のPCB事業に作業代を加えた売上高は435百万円となります。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当中間連結会計期間末の総資産は20,018百万円と前連結会計年度末に比べ1,104百万円減少いたしました。これは主に建設仮勘定が761百万円増加したものの、現金及び預金が1,283百万円、投資有価証券が196百万円減少したこと等によります。

## (負債)

当中間連結会計期間末の負債は7,870百万円と前連結会計年度末に比べ1,173百万円減少いたしました。これは主に未払金が369百万円減少したこと等によります。

## (純資産)

当中間連結会計期間末の純資産は12,148百万円と前連結会計年度末に比べ、68百万円増加いたしました。その主な要因は、その他有価証券評価差額金が138百万円減少したものの、非支配株主持分が151百万円増加したこと等によります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、当中間連結会計期間の実績をふまえ、2024年5月14日に公表した予想値を修正いたしました。詳細については、本日（2024年11月8日）公表いたしました「2025年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,743,751	1,460,337
受取手形及び売掛金	2,676,330	2,565,713
電子記録債権	482,704	414,553
商品及び製品	371,698	290,227
仕掛品	159,929	209,328
原材料及び貯蔵品	416,901	432,176
その他	225,007	96,560
流動資産合計	7,076,323	5,468,898
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,456,491	4,462,152
機械装置及び運搬具(純額)	2,377,609	2,318,013
土地	4,869,085	4,869,085
リース資産(純額)	10,740	9,356
建設仮勘定	387,867	1,148,978
その他(純額)	316,433	297,617
有形固定資産合計	12,418,229	13,105,204
無形固定資産	103,106	101,097
投資その他の資産		
投資有価証券	842,263	646,136
退職給付に係る資産	254,364	256,331
繰延税金資産	33,415	33,605
その他	394,942	406,922
投資その他の資産合計	1,524,986	1,342,997
固定資産合計	14,046,321	14,549,298
資産合計	21,122,645	20,018,197

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,249,120	1,080,665
電子記録債務	235,833	228,948
1年内返済予定の長期借入金	1,511,532	1,345,804
リース債務	3,044	3,044
未払法人税等	184,063	175,010
賞与引当金	254,440	227,689
役員賞与引当金	26,900	12,648
損害補償損失引当金	—	14,194
営業外電子記録債務	218,622	87,914
その他	1,244,823	787,982
流動負債合計	4,928,380	3,963,902
固定負債		
長期借入金	3,816,568	3,664,674
リース債務	8,770	7,248
役員退職慰労引当金	198,071	198,071
退職給付に係る負債	—	3,062
繰延税金負債	88,678	30,619
その他	2,724	2,442
固定負債合計	4,114,812	3,906,118
負債合計	9,043,193	7,870,020
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,588,320	1,588,320
資本剰余金	1,542,906	1,542,906
利益剰余金	8,490,204	8,546,209
自己株式	△326	△382
株主資本合計	11,621,104	11,677,053
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	419,850	281,232
その他の包括利益累計額合計	419,850	281,232
非支配株主持分	38,497	189,889
純資産合計	12,079,452	12,148,176
負債純資産合計	21,122,645	20,018,197

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	8,011,995	7,773,421
売上原価	5,592,936	5,633,299
売上総利益	2,419,059	2,140,121
販売費及び一般管理費	1,649,748	1,802,433
営業利益	769,311	337,688
営業外収益		
受取利息	24	60
受取配当金	9,652	9,422
受取賃貸料	11,382	11,382
受取保険金	2,298	988
補助金収入	5,713	29,025
その他	1,221	17,020
営業外収益合計	30,292	67,899
営業外費用		
支払利息	11,440	12,911
損害補償損失引当金繰入額	—	14,194
その他	521	481
営業外費用合計	11,962	27,587
経常利益	787,641	378,000
特別利益		
固定資産売却益	—	579
特別利益合計	—	579
特別損失		
固定資産除売却損	261	1,642
特別損失合計	261	1,642
税金等調整前中間純利益	787,379	376,937
法人税等	249,767	154,323
中間純利益	537,612	222,614
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	10,109	△6,107
親会社株主に帰属する中間純利益	527,502	228,722

## 中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	537,612	222,614
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	147,634	△138,617
その他の包括利益合計	147,634	△138,617
中間包括利益	685,246	83,996
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	675,136	90,104
非支配株主に係る中間包括利益	10,109	△6,107

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	787,379	376,937
減価償却費	505,149	547,938
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8,821	△26,750
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△20,550	△14,252
受取利息及び受取配当金	△9,676	△9,483
支払利息	11,440	12,911
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△1,440	1,095
損害補償損失引当金の増減額 (△は減少)	—	14,194
受取保険金	△2,298	△988
売上債権の増減額 (△は増加)	84,873	178,767
棚卸資産の増減額 (△は増加)	128,415	16,796
仕入債務の増減額 (△は減少)	△22,634	△175,340
固定資産売却損益 (△は益)	—	△579
その他	19,976	90,632
小計	1,489,456	1,011,880
利息及び配当金の受取額	9,657	9,464
利息の支払額	△11,373	△13,071
保険金の受取額	2,298	988
法人税等の還付額	983	—
法人税等の支払額	△238,720	△138,256
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,252,301	871,004
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△534,705	△1,803,097
有形固定資産の売却による収入	—	580
無形固定資産の取得による支出	△1,250	△1,790
投資有価証券の取得による支出	△2,055	△2,096
その他	24,996	△13,596
投資活動によるキャッシュ・フロー	△513,014	△1,820,001
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△7,733	△1,522
長期借入れによる収入	—	500,000
長期借入金の返済による支出	△931,090	△817,622
配当金の支払額	△155,448	△172,716
自己株式の取得による支出	△326	△56
非支配株主からの払込みによる収入	—	157,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,094,597	△334,417
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△355,310	△1,283,413
現金及び現金同等物の期首残高	2,977,533	2,743,751
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,622,223	1,460,337

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当社及び連結子会社の税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しています。

(セグメント情報等)

当社グループは、環境関連事業から構成される単一セグメントであるため、記載を省略しております。